

第2回 増田誠大賞 大賞作品



一般の部 大賞 百歳の元気な手 F 25号 山 室 昌 美

《意図》

◇私達は、話にしか聞いたことがありませんが、祖母は5歳で高根町からこの都留市菅野の地に養女として育ち、父・母・兄弟の別離やら、どんな苦労があったか想像もつきませんが、そんな蔭は一つも見せず、私達が幼少の頃からやさしくて明るい祖母でした。ただ一生懸命働き続け、今もなお、とても元気で毎日何か仕事をしています。そんな普段の生活の一部を100歳の記念にと絵にしました。手、顔のしわ一本一本に100年間のいろんな想いが深く刻み込まれているようでした。

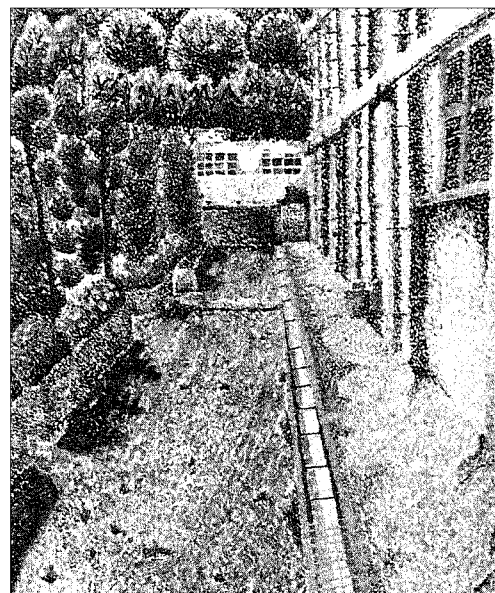
《審査》

☆体はそんなに大きくなく、100歳なのに元気である。その様子が、端的に描かれていること。顔もよく描けている。



小学生の部 大賞 お姉ちゃん 城 田 国 士

《意図》◇お姉ちゃんが全国大会に出場したのを思い出して描いてみました。
《審査》☆3年生が描いたにしては、画面一杯に使い、姉の表情をよくとらえ描かれている。



中学生の部 大賞 風景画 大 津 聡 一

《意図》◇絵の両横に校舎と木の植えてある花だんみたいのがあり、遠近感が出しやすそうだったのと、自分がテニス部なので、いつもよくみているコートの近くを選びました。
《審査》☆一筆一筆細かに描かれており、遠近感もしっかりしている。